



2009年3月期
第3四半期決算資料

(第3四半期累計)

2009年2月12日

ワイエイシー株式会社

(証券コード: 6298)

<http://www.yac.co.jp>



1. 会社概要



1-1 基本情報

(2008年9月30日現在)

商 号	ワイエイシイ株式会社
証券コード	6298 (東証1部)
設 立	1973年 (昭和48年)年5月
代 表 者	代表取締役社長 百瀬武文
事業所等	本 社：東京都昭島市武蔵野3-11-10 営業所：大阪、大分、昭島、新竹（台湾）、上海（中国） 工 場：昭島、山梨、熊本
子 会 社	ワイエイシイ新潟精機株式会社（新潟県妙高市） HYAC Corporation（米国） YAC Systems Singapore Pte Ltd（シンガポール）
資 本 金	2,756百万円
事業内容	産業用エレクトロニクス関連装置、クリーニング関連装置の開発・製造・販売
決 算	3月31日



1-2 当社の主力製品

▲ハードデスク関連

- ・バニッシャー装置
- ・ワイピング装置
- ・クリーンコンベア

▲液晶関連

- ・プラズマ・ドライ・エッチング装置
- ・プラズマ・ドライ・アッシング装置
- ・アニール装置

▲半導体関連

- ・ロジック系IC用テストハンドラー

▲クリーニング関連

- ・自動包装機
- ・ワイシャツ仕上機
- ・アパレル

▲FEL関連

<ハードディスク関連製品>

バニッシャー	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置
ワイピング	ハードディスク製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、バニッシュ工程の前後で、表面のパーティクルの除去及び潤滑財を表面に均一にする装置
クリーンコンベア (HD工場向け)	モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベア。AGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い。
クリーンコンベア (半導体工場向け、 太陽電池工場向け)	(同上)但し、半導体向けは搬送物が300mm用ウエハポット、太陽電池はガラス基板又は約5"ウエハーが入ったカセットで、ハードディスク用に比べコンベア幅大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。
クリーンコンベア (液晶工場向け)	(同上)但し、搬送物はパネルサイズに切りだされた基盤を搬送する、ハードディスク用に比べコンベア幅大きく、より高い耐加重性、耐衝撃性、高速搬送が要求される。



バニッシャー



ハードディスク用クリーンコンベア



半導体用クリーンコンベア

<液晶関連製品>

<p>プラズマ・ドライ・エッチング装置</p>	<p>液晶ディスプレイの各セルの液晶整列方向を個々に制御する微小トランジスターをガラス基板上に描画するプロセスで用いる。 フォトマスクを通して露光した結果、硬化した部分以外を除去後、露出した薄膜をプラズマを利用してガス化し除去する装置。</p>
<p>アニール装置</p>	<p>ガラス表面に塗布された半導体膜の結晶化と不純物の活性化を行う装置。</p>



第7世代用プラズマ・ドライ・エッチング装置(3チャンバータイプ)

対応 基板サイズ
G2
G4
G4.5
G5
G5.5
G6
G7
G7.5
G8

<半導体関連製品>

ロジック系IC用
ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。
必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行う。



ICテストハンドラー(4個同時測定・常温タイプ)



新製品 ICテストハンドラー(16個同時測定・常・高温タイプ)

<クリーニング関連製品>

ボディープレス機	シャツを前後から熱版ではさみシャツのボディー部をプレスする装置。 胴立を2つもち、プレス中に次のシャツを装填できるダブルタイプと、胴立がひとつのシングルタイプがある。 またプレス完了のシャツを自動でハンガーの掛けるオートキャリー付のタイプもあり。
タック・スリーブプレス機	シャツのタック部・袖部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
カラー・カフスプレス機	シャツの襟部・カフス部のプレス機(ダブルタイプ・シングルタイプ)
包装機	クリーニング完了後の衣類にカバーフィルムを自動で装填する装置。 ハンガーのままカバーする立体タイプとたたんだ状態でカバーする平面タイプがある。
アパレル関連機械	洋服の生産工程、縮絨機(生地を蒸気で安定化させる)、芯地・接着機(裁断後の生地を張り合わせる) プレス仕上げ機(完成商品のシワを取り成型する)



シャツ用ボディープレス機
(Wタイプ・オートキャリー付)



包装機 (立体タイプ)



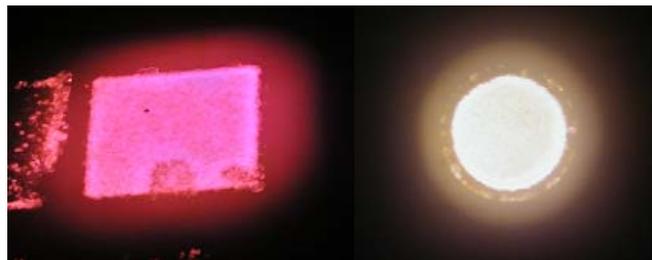
縮絨機



仕上げ機

<FEL関連商品>

ナノダイヤモンド薄膜製造	金属等の材料の表面にナノダイヤモンドの薄膜を生成したエミッターを製作。 特徴（ナノダイヤモンド薄膜を使用したランプ） <ul style="list-style-type: none">・従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛等の有害物質を使用しない。・LED（発光ダイオード）に比べ発光効率が高く省エネ効果がある。・蛍光灯に比べ長寿命である。・蛍光灯、LEDに比べ発熱量が少ない。・色合成の自由度が高い。
--------------	--



発光写真



2. 第3四半期(累計)決算概要



2-1 決算のハイライト(連結)

単位 百万円

科目	2007年3月期(実績)		2008年3月期(実績)		2009年3月期		第3四半期 前年同期比 増減額	第3四半期 前年同期比 増減率(%)
	第3四半期	通期	第3四半期	通期	第3(実績)	通期(見込)		
売上高	15,231	22,423	16,943	21,197	9,266	12,700	▲7,677	▲45.3%
メモリーデスク	6,638	9,899	6,062	7,039	1,819	2,400	▲4,242	▲69.9%
液晶	6,443	9,400	8,797	10,919	5,246	7,500	▲3,551	▲40.3%
半導体	1,110	1,403	580	1,093	1,057	1,150	477	82.2%
クリーニング ^①	1,038	1,720	1,503	2,145	1,143	1,650	▲360	▲23.9%
FEL	—	—	—	—	0.1	0.1	—	—
営業利益	2,098	3,676	2,210	2,295	394	220	▲1,816	▲82.1%
経常利益	2,015	3,583	2,095	2,371	578	380	▲1,517	▲72.4%
当期利益	1,322	2,103	1,322	1,524	359	170	▲963	▲72.8%
1株当たり当期利益	138.0	219.1	137.0	158.1	38.6	18.2	▲98.4	▲71.8%
営業利益率	13.8%	16.4%	13.0%	10.8%	4.3%	1.7%	—	—
研究開発費	143	237	212	287	219	—	7	3.3%
設備投資額	50	51	211	212	17	—	▲194	▲91.9%
減価償却実施額	118	159	105	148	133	—	28	26.6% ^①



2-3 事業別受注・受注残金額(連結)

(1) 受注金額(連結)

科目	2009年 3月期 第3四半期
メモリーディスク関連	1,542
液晶関連	5,439
半導体関連	746
FEL	0
クリーニング関連	(注1) 1,143
合計	8,871

(2) 受注残金額(連結)

(単位 百万円)

2009年 3月期 第3四半期
584
9,121
90
0
(注1) —
9,796

(注1)クリーニング関連は、販売計画に基づいた見込生産を行っておりますので受注=売上となります。



損益計算書のレビュー

(単位:百万円)

科目	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	前年同期比 増減率(%)
売上高	18,050	22,423	21,197	15,231	16,943	9,266	▲ 45.3
売上原価	13,778	16,710	16,693	11,667	13,061	7,240	
売上総利益	4,271	5,712	4,503	3,564	3,882	2,026	▲ 47.8
販管費	1,776	2,036	2,208	1,465	1,672	1,632	
営業利益	2,495	3,676	2,295	2,098	2,210	394	▲ 82.1
営業外収益	42	73	168	56	57	233	
営業外費用	136	166	92	140	171	50	
経常利益	2,401	3,583	2,371	2,015	2,095	578	▲ 72.4
特別利益	6	8	6	0	5	10	
特別損失	94	117	2	11	0	14	
税引前当期純利益	2,313	3,474	2,374	2,003	2,100	573	▲ 72.7
税金費用	808	1,371	850	681	777	214	
当期純利益	1,504	2,103	1,524	1,322	1,322	359	▲ 72.8



貸借対照表のレビュー

(単位:百万円)

科目	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期	前年同期末比 増減額
流動資産	16,121	20,637	18,235	19,792	20,262	15,792	▲ 4,470
現金預金	4,726	5,359	4,625	5,120	4,351	7,053	2,702
売上債権	7,121	7,470	9,217	6,720	10,611	3,703	▲ 6,908
棚卸資産	3,914	7,203	4,152	7,285	4,941	4,388	▲ 553
その他	358	603	240	665	358	646	288
固定資産	2,744	2,969	3,165	3,037	3,413	3,061	▲ 352
有形固定資産	2,493	2,660	2,827	2,672	2,788	2,773	▲ 15
無形固定資産	13	109	99	71	101	91	▲ 10
投資その他の資産	236	199	238	293	523	196	▲ 327
資産合計	18,865	23,607	21,401	22,830	23,675	18,853	▲ 4,822
流動負債	8,468	12,465	8,499	12,014	10,231	5,679	▲ 4,552
仕入債務	5,855	9,199	4,133	9,247	5,114	4,169	▲ 945
短期借入金	1,041	1,363	3,646	1,171	4,321	921	▲ 3,400
その他	1,571	1,902	719	1,595	795	588	▲ 207
固定負債	4,189	1,097	2,172	1,545	2,429	2,566	137
社債・長期借入金	3,807	609	1,621	1,052	1,629	1,981	352
その他	381	487	550	492	799	585	▲ 214
負債合計	12,657	13,563	10,672	13,559	12,661	8,246	▲ 4,415
純資産	6,207	10,044	10,729	9,270	11,014	10,607	▲ 407
負債純資産合計	18,865	23,607	21,401	22,830	23,675	18,853	▲ 4,822



キャッシュフロー計算書のレビュー

(単位:百万円)

科目	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期	2009年3月期 第3四半期
税引前当期純利益	2,313	3,474	2,374	2,003	2,100	573
減価償却費	207	159	148	118	105	133
引当金の増減額	16	9	24	18	▲42	▲3
売上債権の増減額	▲181	127	▲2,392	1,268	▲3,680	5,459
棚卸資産の増減額	▲1,071	▲3,234	2,912	▲3,285	2,243	▲322
仕入債務の増減額	▲919	3,245	▲5,077	3,293	▲4,088	57
法人税等の支払額	▲404	▲1,502	▲1,225	▲1,447	▲1,230	▲347
その他	55	▲183	411	▲366	298	▲406
営業活動によるCF	15	2,095	▲2,823	1,601	▲4,293	5,143
投資活動によるCF	417	▲91	▲306	▲89	▲298	▲9
財務活動によるCF	1,652	▲1,400	2,582	▲1,152	3,639	▲2,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	59	6	▲167	11	▲35	▲61
現金及び現金同等物の増減	2,145	608	▲714	371	▲988	2,425
現金及び現金同等物の期末残高	4,726	5,335	4,621	5,097	4,347	7,046



3. 2009年3月期の予想



3-1 第9次中期計画の基本戦略

I T産業の特徴

1. 高成長 2. 競争激化 3. 高スピード（技術革新） 4. 市場変動（大きい）



この事業環境における安定的収益確保

ワイエイシイの基本戦略

1. 高収益企業への挑戦	<ul style="list-style-type: none">・ オンリーワン技術の強化（差別化）・ 依命システムの徹底・ 低コスト経営の徹底・ モチベーションの一層の高揚
2. マーケット深耕	<ul style="list-style-type: none">・ 顧客との強固な信頼関係構築による市場ニーズの先取りにより新製品バージョンUPによる差別化、取扱製品の増加
3. ファブレス経営の徹底	<ul style="list-style-type: none">・ 営業、開発、技術、アフターサービスを中心とした経営体制・ 市場変動による経営リスクの最小化
4. カスタマー・サポートの充実	<ul style="list-style-type: none">・ 顧客との強固な信頼関係構築による当社純正修理部品の利用推進と消耗品の拡大
5. M&A、アライアンス	<ul style="list-style-type: none">・ シェアUPとシナジー効果による事業拡大
6. グローバル経営	<ul style="list-style-type: none">・ グローバル化の更なる拡大
7. 環境対応	<ul style="list-style-type: none">・ 当社製品の環境への対応



3-2 事業環境(設備動向)

<ハードディスク市場>

- 消費落ち込みによりドライブの需要が減少し、生産ラインの稼働も縮小、また国内の業界再編等により設備投資が延期・凍結されている。
- 次世代高密度デスクの開発進められている。

<液晶パネル市場>

- 大型(TV用)、中型(モニター用)、小型パネル(携帯端末)ともに生産調整に入っている、また設備投資も先送りされている。
- 2010年、11年の地上波デジタル放送本格稼働まで潜在的設備投資の継続が見込まれる。



3-2 事業環境(設備動向)

<半導体市場>

- 今年度後工程の需要が前半は増えたが後半は厳しい状況にある。

<クリーニング市場>

- 国内、海外先進国での市場は成熟しているが。海外新興国の需要は徐々に拡大している

<FEL市場>

- テストサンプル提供、来期には事業化へ



3-3 景気悪化が進行する中での、現在の取組み

1・景気悪化の影響を受ける度合いを少なくする施策

- ① トップの胆力、事業に対する情熱と使命感
- ② 全従業員の危機感の共有
- ③ 受注拡大（営業戦略の変更、アライアンス）
- ④ 粗利UP（生産コスト、外注・仕入れコスト、低コスト設計）
- ⑤ 経営コストの低減（固定費の圧縮）

2・景気回復時に一段と飛躍する施策の実行

- ① シェアUP（差別化、アライアンス、M&A）
- ② 取扱製品の増加（開発、アライアンス、M&A）
- ③ グローバル展開の拡大
- ④ 人材育成、社員の意識改革



3-4 2009年3月期 通期計画(連結)

単位 百万円

科目	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期 (見込)		前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率 (%) (見込)
	実績	実績	実績	第3四半 実績	(通期) 見込		
売上高	18,050	22,423	21,197	9,266	12,700	▲8,497	▲40.0%
営業利益	2,495	3,676	2,295	394	220	▲2,075	▲90.4%
経常利益	2,401	3,583	2,371	578	380	▲1,991	▲83.9%
当期純利益	1,504	2,103	1,524	359	170	▲1,354	▲88.8%
1株当たり当期純利益 (円)	167.8	219.1	158.1	38.6	18.2	▲139.9	▲88.4%



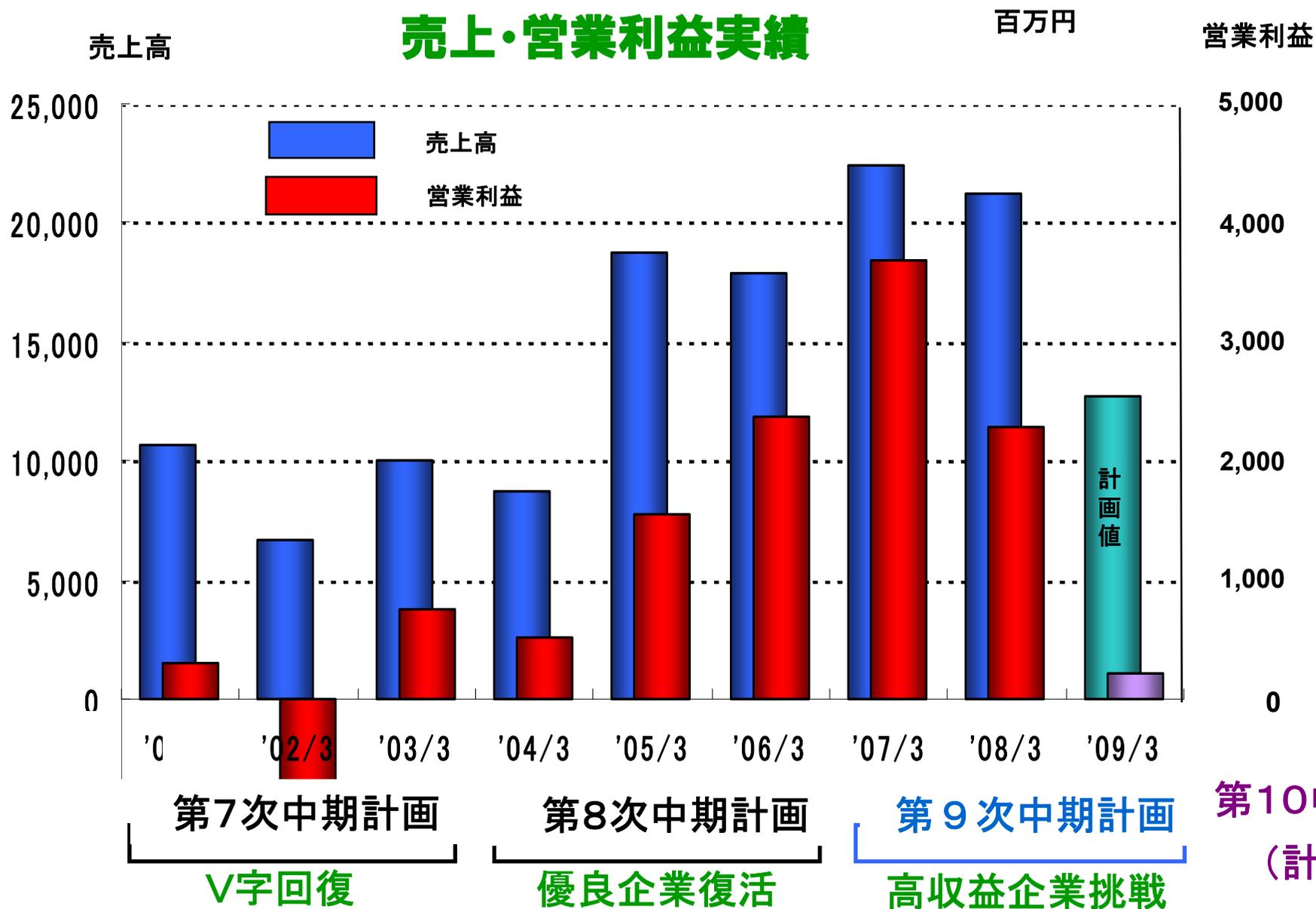
3-5 2009年3月期 事業別売上計画(連結)

単位 百万円

科目	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期 (見込)		前年比 増減額 (見込)	前年比 増減率(%) (見込)
				第3四半 実績	(通期) 見込		
メモリーディスク関連	6,811	9,899	7,039	1,819	2,400	▲4,639	▲65.9%
液晶関連	8,525	9,400	10,919	5,246	7,500	▲3,419	▲31.3%
半導体関連	1,191	1,403	1,093	1,057	1,150	57	5.2%
クリーニング関連	1,521	1,720	2,145	1,143	1,650	▲495	▲23.0%
FEL関連	—	—	—	0.1	0.1	0.1	—
売上合計	18,050	22,423	21,197	9,266	12,700	▲8,497	▲40.0%



3-6 業績推移と第9次中期計画（連結）



注意事項

本資料には、ワイエイシイの業績等に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかる現時点における仮定を前提としています。従いまして、これらの記述は、将来実現する保証はなく、実際の結果と異なる可能性があることをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与える要因には、経済情勢、製品の需要動向、資材価格、為替レートならびに金利の動向等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

ワイエイシイ株式会社